

令和6年度 教育・保育活動に対する学校評価

学校法人瀬戸谷学園 せとやこども園 園長 福與繁太郎
 学校法人瀬戸谷学園 せとやこども園 評価委員会委員長 石引 直子

1 教育目標

・誰とでも仲良く遊べる子 ・あきらめず行動できる子 ・優しく思いやりのある子 ・自分で考え工夫できる子

2 本年度の重点

<元気な子>

- ・友だちと仲良く遊ぶ
- ・好き嫌いをしないで食べる
- ・大きな声であいさつする
- ・戸外で身体を使って楽しく遊ぶ

<自立する子>

- ・基本的な生活習慣を身に付ける
- ・自分でできることは自分でする
- ・共通の目的に向かって遊び等を進める

<考える子>

- ・友だちとの関わりの中でルールを守る
- ・工夫して絵を描いたり制作したりする
- ・言葉で伝え合う

3 自己評価と学校関係者評価結果

評価点…A（十分に成果がある） B（成果がある） C（あまり成果がない） D（成果がない）

評価項目欄の①～⑩は、評価アンケートの項目数字

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評点	園としての反省と◎改善策	評点	評価委員の意見
教育活動	保育の計画性 ⑦⑩	A	運動会は乳児部と幼児部の時間を完全に分け、遊戯会は幼児のみ参加とした。遊戯会での乳児不参加に寂しさを感じる保護者はあるが、乳児は遊戯会当日は終日通常保育としたことで一定の理解は得られたと考える。 来年度の運動会は、雨天時は小学校の体育館を借用し、期日を延期せずに実施することで保護者も参加しやすい形を試行する。	A	・保護者代表のお話を聞いて安心した。
	園生活の充実 ①	A	「我が子は園生活を楽しみにしている」の設問について、「あてはまる」と評価した保護者が昨年度から大幅に増加し、園生活全般を肯定的に受け止めている。ただし、「あまりあてはまらない」とした保護者も若干増えたことに留意する必要がある。	A	・身近に園児がいないためコメントできません。 ・運動会、お遊戯会を見させていただき、子ども達がとても楽しそうに行事に参加する様子に感心しました。 ・行事や普段の生活の中でも家庭ではできない遊びや体験を取り入れていただき、楽しんでいる様子が伝わってくる。
	保育の在り方・園児への対応 ④	B	園児数が少人数であるため、多くの保護者はほぼ肯定的な評価をしているが、「あてはまらない」との回答が若干数あったことを重く受け止めたい。 子どもの人権尊重の意識を徹底し、「一人一人を大切に」保育が日々営まれるよう職員研修を重ねていきたい。	B	・幼小中の研修で授業を見させていただいた時に、子ども一人ひとりに合わせて工夫をされている様子がわかりました。 ・個性豊かな子どもたちに向き合い、日々考えて保育してくださっているのを感じた。
保護者との信頼関係	保護者への対応 ③	B	「職員に気軽に話せる」と感じる保護者は多いが、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と感じた保護者が若干名いたことに留意したい。 たとえ短時間であっても、送迎時に保育者が保護者と直接話す機会を大切にし、信頼を積み重ねていく努力を続けたい。	C	・保護者と職員とのふれあいの時間が十分に取れていないように感じます。 ・本年度のアンケート結果を踏まえて一層の改善を期待します。 ・先生たちがいつも笑顔で声をかけてくれて、本当によく子どもを見てくれるのが伝わってくるから、信頼が得られていると思います。
	広報、連絡、保護者との情報共有 ⑤	A	園だよりは概ね好評であるが、今後は行事だけでなく日常の様子をより多く取り上げていきたい。 年間2回の保護者面談だけでなく、いつでも相談に応じる姿勢を示していきたい。	A	・(園だより) 毎回、子ども達の生き生きと活動する様子が見てとれます。
環境整備 保健安全	安全・安心な環境整備 ⑧	C	9月の不審者侵入事案は直接の被害はなかったものの、門扉未施錠に対する不安感を増大させた。これを受け暗証番号式の門扉に付替える工事を3月に実施することにした。 また、保育の透明性と事故等発生時の状況検証のため、12月に全保育室に室内カメラを設置した。来年度は「保育実態調査」を10月に定例化して実施する。	B	・昨今の情勢から不可欠な対応と考えます。引き続き万全な対応をお願いします。 ・完璧はないと思うが、色々対策を練って実行に移している様子が伝わってくる。

地域資源を生かした保育・教育	家庭・地域との連携・協力 ⑥	A	<p>新型コロナ感染症の活動制限が緩やかになり、地域や家庭との連携場面は増えてきた。</p> <p>一方で、職員は地域の自然や施設等に恵まれた本園の強みを活かした活動をより充実させたいとの思いがあり、その意味で自己評価も厳しくなっている。</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆様が、地元で協力してくださる方に感謝する機会があればよいですね。 ・地元農家との交流など大きな成果が期待されます。是非継続してください。 ・保護者と教員との共有時間が取れると良いのかもしれませんが。
	食育の推進 ②⑨	A	<p>園の畑での作物栽培、地域農園等での果物収穫、田植え体験などは、園児の食への関心を高める機会となっている。</p> <p>食育において最も大きな位置を占めるものは給食であるとの観点から、今後も園児の年齢や特性等を踏まえて、「食べるのが楽しい」と感じる給食指導とバランスのとれた食育を展開したい。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・食農教育という観点から深掘した協議を期待しています。 ・園で作った野菜を給食で調理。すごく楽しみにしています。いい食育になると思います。
その他			<p>瀬戸谷小・中学校との職員研修、中学生の職場体験・家庭科保育実習、稲刈り見学後の小学校訪問など、幼小中の交流機会を今後も大切にしたい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今後は小学生と園児との交流なども進めていけたらと考えていますが、いかがでしょうか。 ・現状各所問題はるかとは思いますが、教育は充分行き届いていると感じています。

令和7年3月6日 学校法人瀬戸谷学園せとやこども園

理事長 平井

